

札幌腎臓病患者友の会
 〒064 札幌市中央区
 南10条西6丁目101-1 札幌南1
 TEL 511-5003
 会長 辻正延

腎友会

通信ニュース 第5号

今年もがんばりましょう。

病床で新しい年を迎えられた皆さんには、一日も早く元気になられます様
 又、社会復帰され活躍されおられる皆さんには、今年も自分を大切に
 して益々ご活躍をと祈っております。

今年こそは腎臓病患者の生活と生る権利を守るために、同道に
 働きかけ会員相互の団結を一層深めて皆さんと共にがんばりたい
 と思います。

----- x ----- x ----- x ----- x ----- x -----

< 幹事会報告 >

(1) 「生きる仲間」第2号発行について

札幌版「生きる仲間」第2号を発行します。会員各位には
 原稿の募集をしております。×切りは、今月末(28日)までです。
 各幹事はわかりやすく期日までに提出して下さい。

(2) 国保・厚生各年金の障害年金に関する週報について

障害年金給付について社会保険庁の周知で一部改正されました。
 詳細については各幹事(センター)に用紙を配布してありますので
 参照して下さい。又、条件の合う未申請の会員には一日も早く
 申請して下さい。詳しいことは各幹事に聞して下さい。

(3) 全国腎臓病患者連絡協議会(全腎協)加入について

全腎協加入については各幹事も異論がないと認めていますが
 会員に対して全腎協加入のための会費徴収には異議あるとしています
 今後、当会の会員全部が加入するとは個人負担が多額となります
 ので取りえず幹事だけ加入することにし、来年度予算案に組み入れる
 ことにいたしました。

(4) 道組織結成について

道内における腎臓病患者は近年増え続け約10万人と見られる
 います。こうした人々の全道的組織を確立しようではないかと
 いう運動が起り、当会にもこれに関わり話し合われましたが
 今後、結成することには幹事会では反対であり、なお、本会の発展
 のために力をそそいで行きたいとする意見が多く、今後は各支部との
 交流を深めて行くことについて考えることに努めることになる。

※ (3)(4)について御意見があれば事務局までお知らせ下さい。

(5) 総会準備について

本会の規約に基づき来月4月中旬頃、第1回の総会を開くことになりました。
 現在、道内における議案書について事務局で作成中であり、
 日時・場所・幹事について決定したら各幹事に用紙を配付して連絡し、
 会員の皆さんにも多数参加を促すこととお願いいたします。

(6) 腎センター一覧表作成中です。

緊急の場、所属するセンターまで行くには同じ合宿地があるような
 時に、一括したセンターを知っていると便利であることから腎センターの一覧表
 の作成をして各患者に配布することを考えており、現在、一覧表の作成
 中です。

----- ※ ----- ※ ----- ※ ----- ※ -----

《商売をはじめようとする人へ》

望みがみかろないような時には商売を始めようとするでしょう。
事業開始資金のない場合は、有利な世帯更生資金制度の中の
生業費を利用すれば最高70万円は借りられる。

この制度は前からあったが、資金の最高限度額が40万円であったため
これでは利用価値が少なかった。

全腎協が患者団体との共闘などで厚生省へ要請を続けて来た。
この結果 限度額が前述のとおり増額になり 厚生省は
各都道府県知事へ通知を出した。この改正ではまだまだ不十分で
さらに運動を進めなければならぬがこの機会にこの制度を
改めて紹介したい。

◎ 制度の種類・内容

身障者や、生活保護を受けているようになるのが目に見えてくる人、
低所得者の自立を助けるための制度の種類・内容は次のとおり
である。

(1) 住宅資金

公営住宅の譲渡に必要の場合にも貸付されるようになった。

(2) 修学資金

大学に就学する場合も対象。

◎ 利用する方法と資格

- (1) 借入申込みは、地区の民生委員を通じて 都道府県社会福祉協議会(市町村社会福祉協議会)に行う。
- (2) この制度を利用出来るのは次のいずれにも該当する人のみ
 - (イ) 身障者か 低所得世帯。
 - (ロ) 所得水準は生活基準の1.5倍。
 - (ハ) 他の金融機関 知人 等から融資を受けられない。
 - (ニ) 2名の連帯保証人がある人。

----- X ----- X ----- X ----- X -----

※ 新刊紹介

○ 「透析食の献立」

去る11月 小玉(株)から 樋口順三先生他著「透析食の献立」
が発行されたので紹介します。

東京人工腎臓センターの院長 樋口先生は同センターで実際に行
なわれている食事療法の結果をもとにして書かれた本である。
透析食の考え方や献立集がカラー写真入りで約150頁にわた
りて掲載されている。従来私たちが手にしたこの種の本は
とかく透析食の基本的な考え方や食品交換表の使い方などが
講義調のものがあった。もちろん、学問的なことも重要であるが
本書のように毎日でも使える本も大いに役立つでしょう。

この本の購入希望の方は事務局まで各幹事を通じて申し
付けて下さい。

一冊 価格 1300円 (代金を之で申込み下さい。)